



JBC news

since 1970

【毎月1回1日発行・1部20円】

JBCニュース
第527号 平成27年10月1日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都港区芝4-4-10
サンライズ長井ビル8F 03(3452)4501
http://www.jbc-bowling.or.jp/



ボウリングを愛好する皆様へ

九月二十八日東京五輪の追加種目候補が発表されました。

しかし残念ながら私達の悲願ボウリングはチャンスをつかむことができませんでした。百万人を越える署名を集め、期待をかけてくださった皆様にも誠に申し訳なく存じます。現時点においてなぜボウリングが選ばれなかったのか理解も納得もいきません。

東京五輪パラリンピックは、東京だけでなく日本列島各地から燃えあがる祭典にすぎではありません。

ボウリングが東京五輪パラリンピックの競技種目に選ばれば、北は稚内から南は石垣まで全都道府県にあるボウリング連盟組織が動き、一千近い全国のボウリング場から明るいオリンピックムーヴメントが生まれ、列島再起の気運とともに地方創生が可能になり、新しい日本が始まると確信し、私たちは運動を続けてきました。

老いも若きも女性も男性も、障害を持つ方々も国民から「生涯スポーツ」「交流スポーツ」として最も親しまれているボウリングです。それだけに追加種目に入ることがかなわず東京五輪パラリンピックへの夢に届かなかったことの「無念さ」が残ります。

しかし、私たちはこれからも次のチャンスへと必ず継いで挑戦し続ける所存ですので国民の皆様、とりわけボウリングを愛好し、応援して下さいる皆様には是非これからもボウリングに対するご理解をお寄せいただきご支援くださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人全日本ボウリング協会

会長 武部 勤



2~3面 専門委員会レポート、U22 1st Fukuoka Summer Cup
4~5面 日本スポーツマスターズ2015

6~7面 第2回世界シニア選手権大会、記録日より
8面 INFORMATION、Top Bowler

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ！」

内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯争奪 第44回 全国都道府県対抗ボウリング選手権大会

第71回国民体育大会ボウリング競技リハーサル大会

2015/11/5(木)▶8(日)



いわて国体マスコット
とぶっち(わんこきょうだい)
いわて国体・大会承認 第27-112号

ビッグハウス
スーパーレーン

〒020-0837
岩手県盛岡市津志田町一丁目1-10
TEL 019-638-1722 FAX 019-636-3606

主催 (公財)全日本ボウリング協会 盛岡市 盛岡市教育委員会
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会盛岡市実行委員会
主管 岩手県ボウリング連盟
後援 文部科学省 (公財)日本体育協会 岩手県 岩手県教育委員会
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会
(公財)岩手県体育協会 (公財)盛岡市体育協会 (株)共同通信社
全国ボウリング公認競技場協議会 岩手県ボウリング公認競技場協議会



JBCニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

専門委員会レポート

プロジェクト

3種審判員認定会は東京と大阪の2会場で開催され、合わせて86名が試験に合格しました。

6月に開催された第28回大会については実施状況の詳細を報告、来年6月に岐阜県で開催する第29回大会については準備状況が報告されました。

6月開催が定例となっており、6月開催が定例となっており、6月開催が定例となっており...

指導者・審判員養成委員会 平成27年度のJBC公認第...

- ▽学生連合 木村慧、平澤大樹、高橋陸、平雄作、中田賢、広川雄紀、山下博也

賛助会員・特別法人・個人会員紹介

平成27年9月1日以降登録者

- 【特別法人会員】 山形県 大成商事株式会社 (代表取締役 佐藤浩二)

- ▽京都 中谷真二、秦淳、林雄

JBC公認ドリラー 新規認定者

- ▽6月1日認定 No.1752 林大介 (京都府)



U22 1st Fukuoka Summer Cup

U22 1st Fukuoka Summer Cup sponsored by STORMはアジアの国と地域から277名のユース選手が集まり、8月21日(金)から23日(日)の3日間、福岡・博多スタジアム(公認No.140)で開催されました。

開会式

大会初日の8月21日(金)はオープニングセレモニー(開会式)が行われました。齋藤長太郎協会専務理事と大会副会...

22歳以下の選手によるこの大会、年齢制限ギリギリで出場した大学4年生の佐藤貴啓(学連)が強豪をしのい決勝トーナメントを勝ち抜いて優勝を飾りました

長年のシンガポールボウリング連盟・ジェシー・プア会長が主催者を代表して挨拶し、大会スポンサーのSTORM社からCCBOのビル・クリスマン氏、同じく(株)ハイ・スポーツ社から川島一男専務取締役に加...

祝辞をいただきました。参加選手を代表して地元福岡県の岡本美月選手と中野勝仁選手が選手宣誓を行いました。



ハイ・スポーツ社 川島専務



STORM社 クリスマンCEO



シンガポール連盟 プア会長



齋藤専務理事

U22 1st Fukuoka Summer Cup 2015 sponsored by STORM

Table with 3 columns: Rank (優勝, 準優勝, 第3位, etc.), Name (佐藤貴啓, 宮澤拓哉, etc.), and Team (日本・学連, 日本・群馬, etc.)

- ▽9月26日(土) 10月2日(日) 第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体) 和歌山・紀の川ボウル

- ▽10月24日(土) ボウリング教室(キヤラバン隊・大阪)



イベントカレンダー 10月・11月

平成27年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

Table showing registration numbers for various leagues and associations across different regions as of September 30, 2015.

アジアのユース世代が福岡で激突

ゲストの人気プロはサイン攻め



競技副賞は56位まで贈呈



副賞やイベントに用意された豪華賞品

参加選手を対象としたスペシャルイベントも多数開催されました。ストライクチャレンジは、ストライクが出なければ脱落の1球勝負。予選のウィリアムズと勝ち残った選手によるスペシャル対決も盛り上がりました。予選の各シフト投球前には、PBAプロのサイン入り記念品が当たるラッキードロウ抽選会も行われました。

優勝者にはストーム社より1年間の用品・技術サポートと、アメリカでの大会出場、ストーム本社での特別トレーニングといった、ステータスアップのための豪華副賞が贈られました。準優勝者もフィリピンでの大会に無料招待され、3位選手にはストーム社の用品提供が副賞として贈呈されました。また56位までの選手にもボールなどの用品がプレゼントされました。

豪華賞品GET

スペシャルイベントで

シフトおよび投球フロア別に分かれたグループから3名ずつが勝ち上がり、総勢12名にボールなどの豪華賞品がプレゼントされました。またPBAからのゲストプロ、ウエス・マロット、スチュアート・ウィリアムズと勝ち残った選手によるスペシャル対決も盛り上がりました。予選の各シフト投球前には、PBAプロのサイン入り記念品が当たるラッキードロウ抽選会も行われました。



宣誓役は岡本選手（左）と中野選手



上位入賞選手

競技

中学2年生の新舎拓巳（岡山）が予選の1ゲーム目からセミパーフェクト。3ゲーム目にも263を打つなど絶好調で、前半を終えて1013の高スコアをマークしました。1・ウン（シンガポール）も2ゲーム目に300をマークして977、11位のスコアが950を超えるハイレベルな激戦からスタートしました。

前半7位につけていた佐藤貴啓（学連）は後半984をマークして首位を奪いました。山本達也（長崎）も974で12位から2位まで浮上り、上位56名が準決勝へ駒を進めました。

4で12位から2位まで浮上り、上位56名が準決勝へ駒を進めました。6位で通過した岡本美月（福岡）は準決勝の1ゲーム目に275を打ってトップに立ちました。3ゲーム目にも252と順調にスコアを伸ばしていた岡本でしたが、宮澤拓哉（群馬）が終盤に猛チャージ。最終ゲームの278で逆転して1位通過を決めました。宮澤はこれまで12ゲームで5875。アベレージは240に迫る高スコアをたたき出しました。2位に岡本、3位にはN・S・サハー（マレーシア）が入り、新舎は4位で通過となりました。

決勝戦は16名によるトーナメント戦。1・2回戦は1対1の1ゲームマッチで勝者が勝ち上がり、ここでも宮澤は圧倒的な強さを見せました。1回戦は246、2回戦では290をマークして順当にベスト4進出を決めました。2位通過の岡本は2回戦で中野勝仁（福岡）に惜敗。3位通過のサハーと4位通過の新舎は1回戦で姿を消し、佐藤と関谷伸太郎（福岡）が勝ち上がりました。

3回戦は4名によるエリミネーター方式。最もスコアが低い1名が脱落しますが、宮澤はストライクラッシュの268で早々に勝ち上がり、唯一200に乗せられなかった関谷が4位確定となりました。

4回戦は実力伯仲の好勝負に。序盤佐藤と中野がストライクをつなげていき、遅れをとった宮澤でしたが後半に入ってから逆襲。終わってみれば259の宮澤と245の佐藤が決勝に進出し、中野は232を打ちも敗退となりました。ナショナルメンバード海外経験も積んできた宮澤ですが、対する佐藤は同じ群馬出身の先輩で、今年のNHK杯でも準優勝の実力者。日本で開かれたアジアの大会で優勝を争うにふさわしい2人が優勝決定戦で対決しました。

絶対調の宮澤は先に連続ストライクを決めるも、佐藤も中盤フィフスで逆転。負けじと再びダブルをマークした宮澤でしたが、9フレからオーウェーの佐藤が振り切りました。

で中野勝仁（福岡）に惜敗。3位通過のサハーと4位通過の新舎は1回戦で姿を消し、佐藤と関谷伸太郎（福岡）が勝ち上がりました。

3回戦は4名によるエリミネーター方式。最もスコアが低い1名が脱落しますが、宮澤はストライクラッシュの268で早々に勝ち上がり、唯一200に乗せられなかった関谷が4位確定となりました。

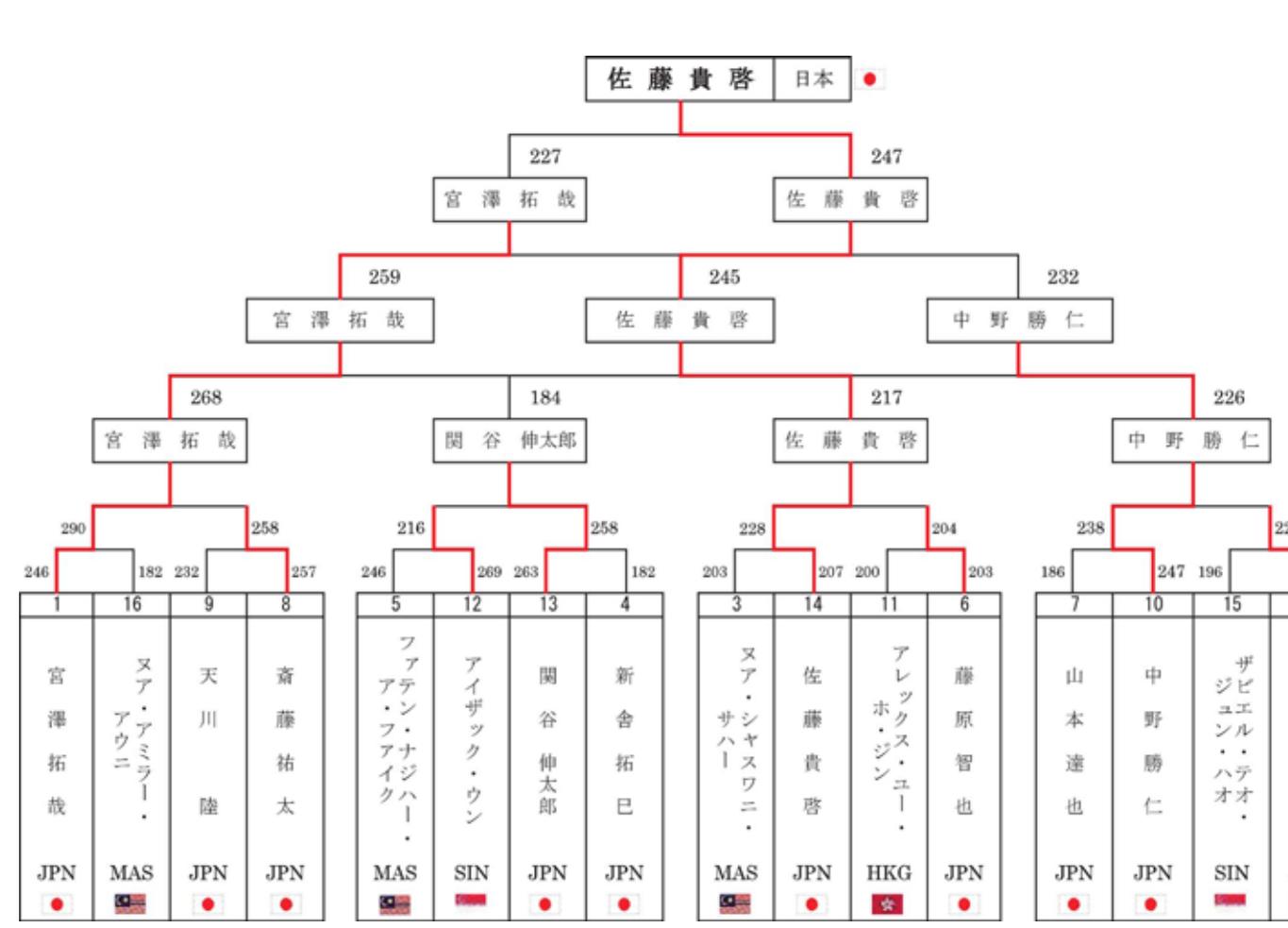
4回戦は実力伯仲の好勝負に。序盤佐藤と中野がストライクをつなげていき、遅れをとった宮澤でしたが後半に入ってから逆襲。終わってみれば259の宮澤と245の佐藤が決勝に進出し、中野は232を打ちも敗退となりました。

ナショナルメンバード海外経験も積んできた宮澤ですが、対する佐藤は同じ群馬出身の先輩で、今年のNHK杯でも準優勝の実力者。日本で開かれたアジアの大会で優勝を争うにふさわしい2人が優勝決定戦で対決しました。

絶対調の宮澤は先に連続ストライクを決めるも、佐藤も中盤フィフスで逆転。負けじと再びダブルをマークした宮澤でしたが、9フレからオーウェーの佐藤が振り切りました。

大学4年の佐藤は、最初で最後の出場となった今大会で初代王者にその名を刻みました。

勝決定戦で対決しました。絶対調の宮澤は先に連続ストライクを決めるも、佐藤も中盤フィフスで逆転。負けじと再びダブルをマークした宮澤でしたが、9フレからオーウェーの佐藤が振り切りました。



ガイド

アジア圏のユースボウラー育成を目的とした企画されたこの大会、22歳以下の選手が9の国と地域から集まり、女混合の個人戦で腕を競いました。（女子および中学生にハンディキャップあり）

予選は4ゲーム×2回戦の計8ゲームを投球し、上位56名が準決勝に進出。さらに4ゲームを行い、12ゲームのトータルスコアで決勝進出者16名を決定しました。

決勝戦はマッチゲームとエリミネーターを組み合わせた。1回の対決を行い勝者が勝ち上がり、2回の対決は最もスコアが低い1名が脱落し、続く4回戦も3名中最低スコアの1名が敗退。勝ち残った2名による直接対決で優勝者を決定しました。

せた複雑なトーナメント戦。1回戦と2回戦は1対1の対決を行い勝者が勝ち上がり、3回戦は最もスコアが低い1名が脱落し、続く4回戦も3名中最低スコアの1名が敗退。勝ち残った2名による直接対決で優勝者を決定しました。

男子 梅田久徳 三重 女子 渡邊美和 福岡 が王座

日本スポーツマスターズ2015 石川大会

日本スポーツマスターズ2015石川大会のボウリング競技が9月18日(金)から21日(月・祝)にかけて、金沢市のジャンボホール(公認No.19・02)で開催されました。45歳以上のボウラーが38の都道府県と韓国から集まり、その実力を競いました。男子は梅田久徳(三重)が、女子は渡邊美和(福岡)がチャンピオンの座に就きました。大会シンボルメンバーと関係者による親善ボウリング大会には今年も高円宮妃殿下がご参加になりました。



ともに初優勝/梅田(左)と渡邊



親善ボウリング大会 今年も高円宮妃殿下ご参加



妃殿下が華麗なフォームを披露

日本スポーツマスターズの大会関係者がボウリングを恒例行事、シンボルメンバー・関係者親善ボウリング大会が、9月18日(金)に開催されました。今年も大会名誉総裁を務められている高円宮妃殿下にご参加いただき、総勢14名



魚選手が選手宣誓



石川県連盟 高田会長



金沢市市民局 詩丘局長



挨拶する 武部会長

開始式

ボウリング競技の開幕を告げる開始式は9月19日(土)9時から執り行われました。主催者を代表して武部勤協会会長が挨拶し、金沢市市民局の詩丘樹持局長と、大会を主管す



韓国選手団とペナントの交換

る石川県ボウリング連盟の高田直人会長が歓迎挨拶され、日韓スポーツ交流事業で大会に参加する韓国選手団が紹介されました。男女総勢16名の選手団を代表して李鍾重(イ・ガボン)監督より挨拶をいただき、日韓国が交流ペナントを交換し、韓国選手団



日体協会長(左)から賞品を受けとる泉専務理事

ポイント役として大会を盛り上げました。

2002ピンを記録した日体協の泉正文専務理事が優勝し、準優勝は中野浩一さん、第3位は高円宮妃殿下という結果に、入賞者と特別賞の韓国選手団・鄭賢淑(ジョン・ヒョンスク)団長に、記念品

【親善大会参加者】
 ・日本スポーツマスターズ名誉総裁 高円宮妃殿下
 ・文部科学省スポーツ・青少年局 スポーツ振興課 森岡 裕策課長
 ・石川県 谷本正憲知事



女子2人チーム戦 入賞者

へ記念品が贈呈されました。最後に、地元石川県の魚雑章選手が力強く選手宣誓し、競技がスタートしました。

- ・石川県議会 中村勲議長
 - ・金沢市議会 福田太郎議長
 - ・韓国選手団 鄭賢淑団長
 - ▽日本体育協会
 - ・泉正文専務理事
 - ・日本スポーツマスターズ委員会 不老浩一委員長
 - ・河内由博事務局長
 - ▽シンボルメンバー
 - ・陸上 谷川真理
 - ・テニス 佐藤直子
 - ・自転車 中野浩一
 - ・野球 衣笠祥雄
 - ・サッカー 北澤豪
- (順不同・敬称略)

ボウリングシンボルメンバーを務める中山律子プロによるボウリング教室が、9月18日(金)に開かれ、地元金沢市民約50人が参加しました。中山プロと佐藤比呂子プロが講師となって、まずは基本動作を説明。その後一人ひとりの投球をチェックしてアドバイスしてゆきました。



中山律子プロ(右)と佐藤プロ

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ!!」

第6回 東日本シニアボウリング競技大会

2015/11/13(金)~15(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
 後援 公益財団法人 三重県体育協会
 全国ボウリング公認競技場協議会
 三重県公認競技場協議会
 協力 公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団
 主管 三重県ボウリング連盟

津グランドボウル

〒514-0821 三重県津市垂水字下境915-1
 TEL 059-227-7415 <http://www.grandbowl.jp/tsu/>

第6回 西日本シニアボウリング競技大会

2015/11/13(金)~15(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
 後援 公益財団法人 福岡県体育協会
 全国ボウリング公認競技場協議会
 福岡県公認ボウリング場協会
 協力 公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団
 主管 福岡県ボウリング連盟

ココロ、カラダ、元気!

STARLANES 博多スターレーン

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-18-33
 TEL 092-451-4321 <http://www.starlanes.co.jp/hakata/>

中高年アスリート石川に集結

男子2人チーム戦 入賞者



男子2人チーム戦
地元代表の石川B(森田・和歌山A(松村・川口)が415と打ち上げて、58ピンあったトップとの差を一気に逆転して優勝を決めました。

男子4人チーム戦
2人チーム戦優勝メンバーを含む和歌山(松村・福島・山崎・川口)が4人チーム戦でも好調。前半を217にまとめると、2位の東京(安藤・馬場)が2位に浮上しましたが、和歌山は逃げ切ってチーム戦之冠を達成しました。

女子2人チーム戦
前半は秋田B(渡辺・佐藤)が137でトップ。2位の福岡B(百瀬・渡邊)がその10ピン差で追う接戦となりました。後半もなかなか高スコアにつなげられない上位2チームでしたが、福岡Bが秋田Bをわずかにリードして最終ゲームに入り、和歌山A(松村・川口)が415と打ち上げて、58ピンあったトップとの差を一気に逆転して優勝を決めました。

女子4人チーム戦
2人チーム戦優勝メンバーを含む和歌山(松村・福島・山崎・川口)が4人チーム戦でも好調。前半を217にまとめると、2位の東京(安藤・馬場)が2位に浮上しましたが、和歌山は逃げ切ってチーム戦之冠を達成しました。

女子4人チーム戦 入賞者



女子選手権者決定戦
上位24名が出場できる選手権者決定戦はこれまでのスコアをリセットして競技開始。トップ通過の渡邊美和(福岡)は1ゲーム目から快調に200UPを続けて、前半624の好スコアをマークしました。

前半は秋田B(渡辺・佐藤)が137でトップ。2位の福岡B(百瀬・渡邊)がその10ピン差で追う接戦となりました。後半もなかなか高スコアにつなげられない上位2チームでしたが、福岡Bが秋田Bをわずかにリードして最終ゲームに入り、和歌山A(松村・川口)が415と打ち上げて、58ピンあったトップとの差を一気に逆転して優勝を決めました。

前半はトップの滋賀(野坂・兼田・田中・中村)が2340。それを三重(梅田・岡・飯田・鈴木)が23ピン差で追う展開に、後半に入ってもスコアをまとめて首位をキープしていた滋賀に、前半6位の広島が34ピン差まで迫りましたが、最終ゲームを887と見事に締めくくった滋賀が、終わってみれば136ピンの大差で優勝となりました。

梅田久徳		男子選手権者
使用ボール	Jackal(15p3oz)	三重県 55歳
公認ドライバー	堀田政幸 (公認No. 1050)	
渡邊美和		女子選手権者
使用ボール	Covert Revolt(15p3oz)	福岡県 48歳
公認ドライバー	柴田英徳 (公認No. 0395)	

5マーク差で4名が2位集団を形成して迎えた後半、中上佐代子(兵庫)が1ゲーム目に211を打って渡邊を逆転しました。ジョ・ハンソン(韓国)も優勝争いに加わり、中上と渡邊が13ピン差、渡邊とジョが11ピン差という接戦で迎えた最終ゲーム、ジョは202をマークして、渡邊を上回る644をマークして梅田久徳(三重)がトップにつけました。後半1ゲーム目は渡邊が215で梅田を逆転すると、2ゲーム目には梅田も217で再びトップに。最終ゲームを213で締めくくった梅田が初優勝を果たしました。

男子4人チーム戦 入賞者



男子選手権者決定戦
男子もトップ通過の渡辺元造(石川)が前半635として好位置につけましたが、その

ヨは202をマークして、渡邊を上回る644をマークして梅田久徳(三重)がトップにつけました。後半1ゲーム目は渡邊が215で梅田を逆転すると、2ゲーム目には梅田も217で再びトップに。最終ゲームを213で締めくくった梅田が初優勝を果たしました。

ガイド

日本スポーツマスターズ2015は中高年(マスターズ世代)のアスリートによる総合スポーツ大会として2011年に創設され、石川県での開催は2011年以来4年ぶりの2度目です。2012年からは韓スポーツ交流事業として、韓国からも選手が参加しています。ボウリング競技には45歳以上の選手が参加。1チームは4名で編成され、2人チーム戦と4人チーム戦を行い、2種目の個人スコア上位24名が選手権者決定戦に進出します。3種目とも男女別で、6ゲームのトーナメントで順位を決定します。

日本スポーツマスターズ2015 ボウリング競技 成績表

参加：男子128名(32チーム) 平成27年9月18日~21日
女子128名(32チーム) 計256名 石川・ジャンボホール

2人チーム戦			
《男子》(2×6G)		《女子》(2×6G)	
第1位	石川B 森田 雅章・前田 知一 2,548	第1位	和歌山A 松村 佳美・川口 尚美 2,162
第2位	京都A 樹 和生・樹 充弘 2,430	第2位	秋田B 渡辺久美子・佐藤由佳子 2,155
第3位	石川C 松本 英将・藤野 博久 2,407	第3位	福岡B 百瀬佳与子・渡邊 美和 2,154
第4位	静岡A 高尾 正樹・萩原 祥古 2,399	第4位	兵庫A 中上佐代子・久米 充代 2,147
第5位	岡山A 仁木 隆・佐野 浩一 2,325	第5位	青森B 小泉 陽子・鳥谷部エイ子 2,138
第6位	長野A 川上 秀樹・伊藤 健市 2,318	第6位	韓国A 宋 允貞・趙 韓遜 2,123
第7位	石川A 渡辺 元造・魚 雅章 2,313	第7位	大分A 馬場 初美・浅野 彰子 2,114
第8位	石川D 田中 信一・河合 昭彦 2,305	第8位	東京A 原 邦子・熊本 美穂 2,103
4人チーム戦			
《男子》(4×6G)		《女子》(4×6G)	
第1位	滋賀 野坂 一利・兼田 啓二 4,802	第1位	和歌山 松村 佳美・福島 佳子 4,410
第2位	広島 有福 和義・矢野 徹学 4,666	第2位	大分 浅野 彰子・岐部 泰子 4,342
第3位	長野 川上 秀樹・伊藤 健市 4,574	第3位	東京 安藤いく子・熊本 美穂 4,259
第4位	三重 梅田 久徳・岡 宏明 4,550	第4位	青森 小泉 陽子・鳥谷部エイ子 4,164
第5位	石川A 渡辺 元造・魚 雅章 4,545	第5位	石川 宇田 博美・三浦 啓子 4,163
第6位	東京 吉村 悟・米島 和弘 4,481	第6位	秋田 渡辺久美子・見上 憲子 4,137
第7位	京都 樹 和生・樹 充弘 4,451	第7位	福岡 谷口久美子・富高あつ子 4,087
第8位	愛知 国田 瑞久・中西 貴久 4,354	第8位	岡山 川上 理恵子・西山 文子 4,038
選手権者決定戦			
《男子》(6G)		《女子》(6G)	
第1位	梅田 久徳 (三重) 1,266	第1位	渡邊 美和 (福岡) 1,157
第2位	渡辺 元造 (石川) 1,207	第2位	趙 韓遜 (韓国) 1,152
第3位	前田 知一 (石川) 1,183	第3位	中上 佐代子 (兵庫) 1,135
第4位	曾我部 文彦 (徳島) 1,159	第4位	浅野 彰子 (大分) 1,130
第5位	野田 正美 (山梨) 1,155	第5位	熊本 美穂 (東京) 1,098
第6位	松本 英将 (石川) 1,155	第6位	沖崎 美和 (北海道) 1,084
第7位	岡 宏明 (三重) 1,150	第7位	榊尾 陽子 (京都) 1,083
第8位	中村 尚 (滋賀) 1,144	第8位	馬場 初美 (大分) 1,082

女子選手権者決定戦 入賞者



男子選手権者決定戦 入賞者



- 第41回中国・四国地区社会人選手権大会 11月29日(土)〜30日(日) 下関イナルボウル (公競No.1265・29)
- 《男子の部》
- ▽3人チーム戦(3×9G)
 - ①愛媛A(虎尾・大下・山本) 5956
 - ②岡山B(飯野・川並・柿本) 5742
 - ③広島A(大下・林・木時) 5697
 - ④愛媛C(小野・由中・西森) 5691
 - ⑤岡山G(坪田・森谷・宮山) 5671
 - ⑥広島D(森岡・越智・沖) 5651
 - ▽選手権者決定戦(12G)
 - ①小野年明(愛媛) 2791
 - ②杉山辰也(山口) 2698
 - ③吉田薫(岡山) 2692
 - ④木村修(徳島) 2679
 - ⑤藤田泰義(広島) 2678
 - ⑥虎尾貴之(愛媛) 2640

- 《女子の部》
- ▽3人チーム戦(3×9G)
 - ①広島A(木原・大下・沖) 5303
 - ②広島B(北川・細迫・門田) 5299
 - ③山口C(山口・中司・岡本) 5168
 - ④愛媛A(牟田・西山・大下) 5151
 - ⑤岡山A(伊原・西山・平田) 5146
 - ⑥香川B(木村・小野・川田) 5087
 - ▽選手権者決定戦(12G)
 - ①林静恵(山口) 2657
 - ②沖崇子(広島) 2577
 - ③川口友加(山口) 2476
 - ④藤岡美帆(徳島) 2468
 - ⑤牟田智子(愛媛) 2437
 - ⑥山内幸恵(山口) 2427

- ③白浜大夢(大阪) 2693
- ④浅川智輝(兵庫) 2661
- ⑤大久保雄矢(奈良) 2651
- ⑥伊藤梨紗(大阪) 2638
- ▽20歳代(12G)
 - ①根深滂(和歌山) 2951
 - ②永井雅也(京都) 2601
 - ③山田大輔(和歌山) 2589
 - ④川口美紀(和歌山) 2568
 - ⑤守屋雄斗(大阪) 2511
 - ⑥平野基和(和歌山) 2511
- ▽30歳代(12G)
 - ①岸田健佑(大阪) 2720
 - ②北田典男(大阪) 2680
 - ③小笠原匡(京都) 2599
 - ④富永圭子(京都) 2580
 - ⑤東島伸弥(京都) 2491
 - ⑥福永義昭(大阪) 2484
- ▽40歳代(12G)
 - ①大久保幸江(奈良) 2684
 - ②山崎多鶴(京都) 2667
 - ③浦部年男(滋賀) 2674
 - ④松村佳美(和歌山) 2663
 - ⑤道林政広(兵庫) 2639
 - ⑥新谷朋之(京都) 2635

- 第11回関西年齢別選手権大会 1月17日(土)〜18日(日) 神戸スカイレーン(公競No.128)
- 《男子の部》
- ▽2人チーム戦(2×6G)
 - ①愛知F(横山・松井) 2698
 - ②愛知H(大月・野々山) 2670
 - ③三重B(高木・伊東) 2656
 - ④愛知C(白井・高平) 2644
 - ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①中村尚(滋賀) 2609
 - ②辻康博(京都) 2599
 - ③辻本弘則(奈良) 2576
 - ④中馬秋義(奈良) 2549
 - ⑤長島剛夫(大阪) 2530
 - ⑥岡部俊樹(京都) 2493

- 第31回東海地区選手権大会 1月17日(土)〜18日(日) 津クランドボウル(公競No.123)
- 《男子の部》
- ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①田村浩也(愛知) 4072
 - ②脇坂裕貴(岐阜) 4070
 - ③小泉主税(静岡) 4060
 - ④高平紗也斗(愛知) 4055
 - ⑤大月光浩(愛知) 4013
 - ⑥加藤勇紀(三重) 4002
 - 《女子の部》
 - ▽2人チーム戦(2×6G)
 - ①岐草A(竹川・星野) 2702
 - ②静岡A(古田・石川) 2585
 - ③愛知A(入江・大月) 2582
 - ④三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 2488
 - ⑤静岡B(鈴木・久松) 2478
 - ⑥三重C(濱田・新野) 2454

- ⑤三重A(加藤・梅田) 2610
- ⑥静岡D(山下・山西) 2580
- ▽4人チーム戦(4×6G)
 - ①愛知B(高平・近藤・山浦・白井) 5205
 - ②愛知D(大月・夏目・野々山・高野) 5145
 - ③三重B(長田・前坂・古市・細井) 5139
 - ④岐阜A(脇坂・長澤・竹林・吉村) 5085
 - ⑤竹林・吉村(5085)
 - ⑥愛知A(林・三浦・田村・敷下) 5066
 - ⑦愛知C(田中・石川・横山・松井) 5062
- ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①田村浩也(愛知) 4072
 - ②脇坂裕貴(岐阜) 4070
 - ③小泉主税(静岡) 4060
 - ④高平紗也斗(愛知) 4055
 - ⑤大月光浩(愛知) 4013
 - ⑥加藤勇紀(三重) 4002

- ②静岡A(古田・石川) 2585
- ③愛知A(入江・大月) 2582
- ④三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 2488
- ⑤静岡B(鈴木・久松) 2478
- ⑥三重C(濱田・新野) 2454
- ▽4人チーム戦(4×6G)
 - ①静岡A(古田・鈴木・石川・久松) 5142
 - ②三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 5122
 - ③愛知A(入江・大月・早川・渡邊) 5053
 - ④岐阜A(武澤・井上・星野・竹川) 4904
 - ⑤愛知B(早川・中西・伊藤・夏目) 4540
 - ⑥三重B(濱田・新西・串田・柳川) 4520
- ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①竹川ひかる(岐阜) 4304
 - ②入江菜々美(愛知) 4065
 - ③久松美穂(静岡) 4043
 - ④坂倉崇(三重) 4011
 - ⑤渡邊紗羅(愛知) 3973
 - ⑥古田このみ(静岡) 3907

- ①岐草A(竹川・星野) 2702
- ②静岡A(古田・石川) 2585
- ③愛知A(入江・大月) 2582
- ④三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 2488
- ⑤静岡B(鈴木・久松) 2478
- ⑥三重C(濱田・新野) 2454
- ▽4人チーム戦(4×6G)
 - ①静岡A(古田・鈴木・石川・久松) 5142
 - ②三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 5122
 - ③愛知A(入江・大月・早川・渡邊) 5053
 - ④岐阜A(武澤・井上・星野・竹川) 4904
 - ⑤愛知B(早川・中西・伊藤・夏目) 4540
 - ⑥三重B(濱田・新西・串田・柳川) 4520
- ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①竹川ひかる(岐阜) 4304
 - ②入江菜々美(愛知) 4065
 - ③久松美穂(静岡) 4043
 - ④坂倉崇(三重) 4011
 - ⑤渡邊紗羅(愛知) 3973
 - ⑥古田このみ(静岡) 3907

- ①岐草A(竹川・星野) 2702
- ②静岡A(古田・石川) 2585
- ③愛知A(入江・大月) 2582
- ④三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 2488
- ⑤静岡B(鈴木・久松) 2478
- ⑥三重C(濱田・新野) 2454
- ▽4人チーム戦(4×6G)
 - ①静岡A(古田・鈴木・石川・久松) 5142
 - ②三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 5122
 - ③愛知A(入江・大月・早川・渡邊) 5053
 - ④岐阜A(武澤・井上・星野・竹川) 4904
 - ⑤愛知B(早川・中西・伊藤・夏目) 4540
 - ⑥三重B(濱田・新西・串田・柳川) 4520
- ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①竹川ひかる(岐阜) 4304
 - ②入江菜々美(愛知) 4065
 - ③久松美穂(静岡) 4043
 - ④坂倉崇(三重) 4011
 - ⑤渡邊紗羅(愛知) 3973
 - ⑥古田このみ(静岡) 3907

- ①岐草A(竹川・星野) 2702
- ②静岡A(古田・石川) 2585
- ③愛知A(入江・大月) 2582
- ④三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 2488
- ⑤静岡B(鈴木・久松) 2478
- ⑥三重C(濱田・新野) 2454
- ▽4人チーム戦(4×6G)
 - ①静岡A(古田・鈴木・石川・久松) 5142
 - ②三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 5122
 - ③愛知A(入江・大月・早川・渡邊) 5053
 - ④岐阜A(武澤・井上・星野・竹川) 4904
 - ⑤愛知B(早川・中西・伊藤・夏目) 4540
 - ⑥三重B(濱田・新西・串田・柳川) 4520
- ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①竹川ひかる(岐阜) 4304
 - ②入江菜々美(愛知) 4065
 - ③久松美穂(静岡) 4043
 - ④坂倉崇(三重) 4011
 - ⑤渡邊紗羅(愛知) 3973
 - ⑥古田このみ(静岡) 3907

- ①岐草A(竹川・星野) 2702
- ②静岡A(古田・石川) 2585
- ③愛知A(入江・大月) 2582
- ④三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 2488
- ⑤静岡B(鈴木・久松) 2478
- ⑥三重C(濱田・新野) 2454
- ▽4人チーム戦(4×6G)
 - ①静岡A(古田・鈴木・石川・久松) 5142
 - ②三重A(谷原・坂倉・山本・吉川) 5122
 - ③愛知A(入江・大月・早川・渡邊) 5053
 - ④岐阜A(武澤・井上・星野・竹川) 4904
 - ⑤愛知B(早川・中西・伊藤・夏目) 4540
 - ⑥三重B(濱田・新西・串田・柳川) 4520
- ▽選手権者決定戦(18G)
 - ①竹川ひかる(岐阜) 4304
 - ②入江菜々美(愛知) 4065
 - ③久松美穂(静岡) 4043
 - ④坂倉崇(三重) 4011
 - ⑤渡邊紗羅(愛知) 3973
 - ⑥古田このみ(静岡) 3907

第2回 世界シニア選手権大会

吉田由美子 シングルス 6位入賞



男子日本代表(左から) 加地、中村、緒方、村上

女子日本代表(左から) 吉田、唐津、久慈、竹本

男子は普段の力を発揮できず…

第2回世界シニア選手権大会が8月23日(日)〜30日(日)にかけてアメリカ・ラスベガスで開催されました。33の国と地域から50歳以上のシニアボウラー206名が出場、日本からも男女各4名の代表選手が出場しました。

日本の代表選手は、7月に開催された第48回全日本シニア選手権大会の結果をもとに、出場希望者の中から選ばれました。女子では唐津美佐子選手(埼玉)が2013に開かれた第1回大会との連続出場となり、シニアの部選手権者の吉田由美子選手(埼玉)、ハイシニア選手権者の久慈順子選手(岩手)に、竹本佐知子選手(広島)という布陣。

最初の種目となったシングルス戦では、吉田選手が上位争い。後半に追いついて決勝トーナメント進出の4位争いを展開しました。しかし、最終ゲームの時点で残り1枠を3名で争う接戦となり、12ピ

世界シニアボウリング選手権大会 2015

2015. 8. 23~30
アメリカ・ラスベガス Sam's Town Bowling Center

参加33の国と地域 206名(男子117・女子89)

《男子シングルス戦》予選6G ⇒ 決勝トーナメント

予選順位

第1位	Sim, Todd(カナダ)	243
第4位	Chapman, John(カナダ)	206
第2位	Keddie, Alan(スコットランド)	211
第3位	Frawley, Andrew(オーストラリア)	215

優勝 Frawley, Andrew
準優勝 Sim, Todd
第3位 Keddie, Alan
Chapman, John

第30位 緒方 正(日本・大分) 1,174
第51位 加地 敏 浩(日本・兵庫) 1,124
第67位 村上 悦 男(日本・神奈川) 1,096
第69位 中 村 謙(日本・三重) 1,087

《女子シングルス戦》予選6G ⇒ 決勝トーナメント

予選順位

第1位	Sandelin, Lucy(アメリカ)	194
第4位	Nordenson, Kristina(スウェーデン)	199
第2位	Tamminen, Tuula(フィンランド)	194
第3位	Olsson, Susanne(スウェーデン)	236

優勝 Nordenson, Kristina
準優勝 Olsson, Susanne
第3位 Sandelin, Lucy
Tamminen, Tuula

第6位 吉 田 由美子(日本・埼玉) 1,185
第20位 久 慈 順 子(日本・岩手) 1,105
第41位 唐 津 美佐子(日本・埼玉) 1,043
第56位 竹 本 佐知子(日本・広島) 1,011

《男子ダブルス戦》予選2×6G ⇒ 決勝トーナメント

予選順位

第1位	アメリカ	358
第4位	コロンビア	391
第2位	カナダ	434
第3位	オーストラリア	395

優勝 コロンビア
準優勝 カナダ
第3位 アメリカ
オーストラリア

第18位 日 本(村上悦男・緒方正) 2,343
第45位 日 本(中村謙・加地敏浩) 2,107

《女子ダブルス戦》予選2×6G ⇒ 決勝トーナメント

予選順位

第1位	アメリカ	414
第4位	カナダ	372
第2位	ドイツ	420
第3位	アメリカ	343

優勝 アメリカ
準優勝 ドイツ
第3位 アメリカ
カナダ

第7位 日 本(吉田由美子・久慈順子) 2,227
第32位 日 本(唐津美佐子・竹本佐知子) 1,931

《男子4人チーム戦》予選4×6G ⇒ 決勝トーナメント

予選順位

第1位	オーストラリア	858
第4位	カナダ	713
第2位	スウェーデン	805
第3位	アメリカ	859

優勝 アメリカ
準優勝 オーストラリア
第3位 スウェーデン
カナダ

第14位 日 本(加地・中村・村上・緒方) 4,513

《女子4人チーム戦》予選4×6G ⇒ 決勝トーナメント

予選順位

第1位	アメリカ	821
第4位	オーストラリア	707
第2位	スウェーデン	746
第3位	メキシコ	765

優勝 アメリカ
準優勝 メキシコ
第3位 スウェーデン
オーストラリア

第10位 日 本(唐津・竹本・吉田・久慈) 4,202

《男子オールイベント》18G

第1位	Chapman, John(カナダ)	3,922
第2位	Boresch, Lennie(アメリカ)	3,904
第3位	Cummings, Shaun(オーストラリア)	3,889
第39位	緒 方 正(日本・大分)	3,475
第53位	村上 悦 男(日本・神奈川)	3,402
第55位	加 地 敏 浩(日本・兵庫)	3,393
第88位	中 村 謙(日本・三重)	3,174

《女子オールイベント》18G

第1位	Sandelin, Lucy(アメリカ)	3,756
第2位	Olsson, Susanne(スウェーデン)	3,617
第3位	Romeo, Robin(アメリカ)	3,542
第9位	吉 田 由美子(日本・埼玉)	3,441
第32位	久 慈 順 子(日本・岩手)	3,197
第48位	唐 津 美佐子(日本・埼玉)	3,081
第61位	竹 本 佐知子(日本・広島)	2,985

《男子マスターズ戦》ステップ1(24G) ⇒ ステップ2(31G) ⇒ トーナメント

ステップ2順位

第1位	Boresch, Lennie(アメリカ)	237
第4位	Sim, Todd(カナダ)	174
第2位	Mohr, Ron(アメリカ)	186
第3位	Frawley, Andrew(オーストラリア)	215

優勝 Frawley, Andrew
準優勝 Boresch, Lennie
第3位 Mohr, Ron
Sim, Todd

《女子マスターズ》ステップ1(24G) ⇒ ステップ2(31G) ⇒ トーナメント

ステップ2順位

第1位	Sandelin, Lucy(アメリカ)	192
第4位	Romeo, Robin(アメリカ)	190
第2位	Olsson, Susanne(スウェーデン)	202
第3位	Johnson, Tish(アメリカ)	201

優勝 Olsson, Susanne
準優勝 Sandelin, Lucy
第3位 Johnson, Tish
Romeo, Robin

第10位 吉 田 由美子(日本・埼玉) 4,585 (ステップ1敗退)

第29回関東地区シニア選手権大会 1月31日(土)2月1日(日)新狭山クラブドボウル(公競No.111・30)
▽2人チーム戦(2X6G)
①栃木B(永津・上山)2792 ②神奈川E(吉川・佐藤)2778 ③埼玉B(吉田・青柳)2735 ④東京C(成海・富山)2734 ⑤埼玉N(小林・佐渡山)2711 ⑥神奈川B(川島・村上)2693
▽4人チーム戦(4X6G)
①埼玉G(山越・千葉・小林・佐藤)5450 ②千葉E(近藤・小澤・海和・海和)5446 ③埼玉A(斎藤・唐津・吉田・青柳)5358 ④東京A(田倉・飛田・鳥本・赤津)5355 ⑤神奈川A(吉川・佐藤・三嶋・小玉)5332 ⑥山梨A(望月・望月・原田・小林)5251
▽男子選手権者決定戦(15G)
①上山正(栃木)3727 ②村上武男(神奈川)3727 ③望月正幸(山梨)3726 ④小玉真(神奈川)3707 ⑤丸山博(東京)3488 ⑥豊浦健(神奈川)3458
▽女子選手権者決定戦(15G)
①吉田由美子(埼玉)3561 ②郡司加代子(神奈川)3488 ③吉川真弓(神奈川)3387 ④唐津美佐子(埼玉)3321 ⑤太田千恵(神奈川)3293 ⑥藤沢真理子(東京)3285
第45回九州選抜選手権大会 2月21日(土)22日(日)日田アストロポウル(公競No.144・15)
▽男子(決勝ラウンドロビン7G、勝ポイント含む)
①幸喜将太(沖縄)1742 ②升水祐介(福岡)1603 ③吉本隆夫(熊本)1542 ④古賀優輝(福岡)1576 ⑤高木遼介(福岡)1529 ⑥石黒廣規(福岡)1504
▽女子(決勝ラウンドロビン7G、勝ポイント含む)
①古田奏絵(福岡)1582 ②小池沙紀(長崎)1550 ③今井双葉(長崎)1506 ④川口麻衣(福岡)1498 ⑤松田未佑(福岡)1444 ⑥小池渚(長崎)1440

第10回関西クラブ対抗競技大会 2月22日(日)紀の川ボウル(公競No.130・14)
▽3人チーム戦(ベーカー方式9G)
①瀬田A(滋賀)千葉・高市・中村)2166 ②和歌山グランドボウルA(和歌山)垣添・和田・坂原)2157 ③和歌山グランドボウルE(和歌山/山口/山上/西田)2004 ④フタバ(大阪)石原・森田・山本)2004 ⑤湖南(滋賀)島本・竹崎・中江)1964 ⑥和歌山グランドボウルC(和歌山/山崎/川口/山本)1940
第9回東海地区シニア選手権大会 2月28日(土)3月1日(日)岐阜グランドボウル(公競No.124・24)
▽2人チーム戦(2X6G)
①三重G(鈴木・吉川)2808 ②愛知H(横山・松井)2802 ③愛知D(西山・則武)2694 ④愛知A(森井・中西)2621 ⑤三重F(南出・柳川)2558 ⑥静岡C(杉山・久松)2507
▽4人チーム戦(4X6G)
①三重A(堀田・中川・中村・伊藤)5324 ②愛知F(滝川・谷本・園田・石川)5218 ③愛知A(森井・中西・戎・田中)5160 ④愛知D(原・墨・横山・松井)5020 ⑤三重B(山本・北嶋・栗林・栗林)5012 ⑥三重D(飯田・吉川・梅田・鈴木)4981
▽男子選手権者決定戦(15G)
①横山智(愛知)3377 ②松井卓治(愛知)3328 ③中村謙(三重)3317 ④久松正則(静岡)3314 ⑤梅田久徳(三重)3300 ⑥鈴木隆博(三重)3285
▽女子選手権者決定戦(15G)
①中西晴子(愛知)3377 ②柳川穂波(三重)3298 ③吉川朋子(三重)3296 ④森井裕子(愛知)3240 ⑤高木正子(愛知)3156 ⑥則武紀子(愛知)3099
第38回中国・四国地区シニア選手権大会 2月28日(土)3月1日(日)アミパラボウル(公競No.133・45)

《男子シニア》
▽2人チーム戦(2X6G)
①岡山B(高田・柿本)2714 ②岡山D(下岡・佐古)2702 ③高知A(元吉・柴岡)2670 ④徳島A(坂本・平井)2668 ⑤広島B(溝口・吉岡)2561 ⑥岡山E(坪田・川上)2501
▽個人戦(6G)
①柿本鉄夫(岡山)1378 ②仁木隆(岡山)1329 ③坂口正則(山口)1329 ④大崎智(広島)1328 ⑤川上正介(岡山)1322 ⑥平井祥恭(徳島)1317
▽選手権者決定戦(15G)
①柿本鉄夫(岡山)3563 ②平井祥恭(徳島)3373 ③佐古浩一(岡山)3325 ④元吉康男(高知)3272 ⑤川上正介(岡山)3255 ⑥由中信安(愛媛)3238
《男子ハイシニア》
▽2人チーム戦(2X6G)
①岡山C(田中・岡田)2633 ②高知河野・岩本)2528 ③広島A(木村・藤田)2444 ④香川A(杉山・植田)2434 ⑤岡山D(森谷・安田)2400 ⑥愛媛A(幸田・小野)2395
▽個人戦(6G)
①幸田広保(愛媛)1370 ②井上勝裕(岡山)1319 ③田中嵩(岡山)1299 ④松野正憲(鳥根)1290 ⑤木村賢司(岡山)1255 ⑥小野年明(愛媛)1238
▽選手権者決定戦(15G)
①幸田広保(愛媛)3290 ②田中嵩(岡山)3232 ③河野泰明(高知)3095 ④岩本正臣(高知)3078 ⑤植田秀信(香川)3073 ⑥井上勝裕(岡山)3057
《女子シニア》
▽2人チーム戦(2X6G)
①岡山A(平田・鈴木)2494 ②鳥根(林田・石原)2424 ③愛媛C(牟田・高坂)2412 ④広島A(大下・沖)2364 ⑤広島D(岸上・竹本)2347 ⑥岡山B(山口・山内)2312
▽個人戦(6G)
①林田尚恵(鳥根)1353 ②佐竹理江(高知)1301

③鈴木百合子(岡山)1285 ④大下千史(広島)1248 ⑤沖崇子(広島)1243 ⑥平田千鶴子(岡山)1240
▽選手権者決定戦(15G)
①平田千鶴子(岡山)3190 ②林田尚恵(鳥根)3184 ③大下千史(広島)3137 ④山口葉子(岡山)3065 ⑤山内幸恵(山口)2996 ⑥佐竹理江(高知)2975
第46回関西実業選手権大会 3月1日(日)キョーイチアミューズメントパーク吉祥院(公競No.126・27)
▽4人チーム戦(4X9G)
①パナソニックホームズアライアンス社(滋賀)桑原・村田・橋本・岩若)7540 ②シャトー京都(京都)堀・松本・斎須・林)7243 ③川崎重工A(兵庫)藤田・日置・田淵・松尾)7132 ④大津市役所(滋賀)山極・栗田・西村・井上・猪飼)7106 ⑤日新電機B(京都)高橋・大江・棚橋・西岡・山本)7066 ⑥ユニチカ(京都)志賀・中島・宮城・後藤)7018
第29回オール関東ジュニアナメント 3月28日(土)29日(日)品川プリンスホテルボウリングセンター(公競No.113・41)
▽小学生男子の部(9G)
①吉原正明(埼玉)鶴ヶ島市立長久保小学校)1803 ②坂本就馬(神奈川)相模原市立大野台中央小学校)1783 ③菅野直人(神奈川)藤沢市立立大庭小学校)1668 ④高崎亮太(埼玉)鶴ヶ島市立南小学校)1660 ⑤岡田海人(埼玉)川口市立本町小学校)1578 ⑥山上駿人(東京)板橋区立蓮根小学校)1575
▽小学生女子の部(9G)
①徳永愛梨(神奈川)川崎市立宮崎小学校)1502 ②金子萌夏(群馬)桐生市立南小学校)1496 ③上野帆楓(朝霞市立朝霞第八小学校)1403
▽中学生男子の部(9G)
①佐藤雄偉(群馬)伊勢崎市立赤堀中学校)1826 ②村上太一(静岡)沼津市立原中学校)1824 ③植松智之(静岡)伊東市立南中学校)1803 ④篠崎剛人(栃木)栃木市立栃木東中学校)1789 ⑤佐藤雅生(千葉)八千代市立村上市東中学校)1780 ⑥遠藤雅高(埼玉)行田市立行田中学校)1767
▽中学生女子の部(9G)
①向谷優那(千葉)市川市立南行徳中学校)1752 ②坂本かや(神奈川)相模原市立大野台中学校)1698 ③鈴木波流(静岡)富士市立田子浦中学校)1663 ④石丸千奈未(神奈川)横浜市立東鴨居中学校)1575 ⑤坂野ニナ(茨城)常総市立石下西中学校)1556 ⑥水野あやか(千葉)富里市立富里中学校)1532
▽高校生男子の部(9G)
①宮澤拓哉(群馬)桐生第一高校)2154 ②小野在田(東京)青陵高校)2011 ③増井陸(茨城)土浦日本大学高校)1986 ④石橋天輝(千葉)県立千葉商業高校)1920 ⑤市原龍喜(神奈川)八王子実践高校)1883 ⑥小池克彦(神奈川)県立横浜南陵高校)1871 ⑦高校生女子の部(9G)
①鈴木なつき(静岡)県立沼津商業高校)1912 ②小野瑞歩(静岡)日本大学三島高校)1844 ③内田侑希(神奈川)県立横浜南陵高校)1836 ④野中千里(神奈川)県立金谷高校)1799 ⑤大久保咲枝(神奈川)県立横須賀工業高校)1768 ⑥村田麻利亜(神奈川)県立麻溝台高校)1748

⑦小池・鬼塚)9892
▽個人(9G)
①北原泰輔(佐賀)2175 ②嶋田佑介(福岡)2172 ③下地良信(沖縄)2089 ④吉本隆夫(熊本)2064 ⑤山本優一(福岡)2060 ⑥緒方正(大分)2057
第44回九州小中・高校選手権大会 3月29日(日)博多スターレーン(公競No.140・16)
▽小中男子の部(9G)
①原口優馬(長崎)1822 ②前田祐輔(大分)1789 ③手嶋優也(福岡)1760 ④座波政斗(沖縄)1731 ⑤前畑利樹(福岡)1719 ⑥徳久恵大(長崎)1760
▽小中女子の部(9G)
①雨立智香(熊本)1777 ②羽田萌香(長崎)1752 ③坂井百望(福岡)1740 ④中原愛美(熊本)1729 ⑤中島望結(佐賀)1707 ⑥石田雅美(熊本)1705
▽高校男子の部(9G)
①高木遼介(福岡)1924 ②喜々津快(長崎)1904 ③知念英夢(沖縄)1897 ④岸崎大知(福岡)1886 ⑤山本達也(長崎)1847 ⑥関谷伸太郎(福岡)1828
▽高校女子の部(9G)
①山口奈瑠美(福岡)1680 ②鈴木美来(学連)3916 ③松尾妃奈(長崎)1649 ④下林千佳(熊本)1648 ⑤矢部紗也香(長崎)1622 ⑥菊地彩夏(宮崎)1596
第32回中国地区選手権大会 5月9日(土)10日(日)下関口イナルボウル(公競No.135・29)
《男子の部》
▽2人チーム戦(2X6G)
①山口A(坂口・向本)2836 ②広島P(細川・矢野)2772 ③岡山A(楠葉・飯野)2737 ④岡山H(佐藤・佐古)2707 ⑤山口G(豊田・江藤)2672 ⑥広島A(中塩・難波江)2667
▽4人チーム戦(4X12G)
①沖繩A(宇良・加藤・宇良・下地)10370 ②熊本A(小原・里永・中川・吉本)10173 ③大分3(松本・安藤・安藤・緒方)10122 ④福岡1(山本・東・上田・伊藤)10083 ⑤鹿児島C(片野坂・片野坂・米増・片野坂)9990 ⑥長崎B(下谷・小池・野田・鈴木)5037
⑦学連B(志摩・中桐・宮崎・比嘉)5024 ⑧山口E(作間・後田・向本・宮野)5007 ⑨広島A(中塩・難波江・東山・大岡)5000
▽選手権者決定戦(18G)
①志摩竜太郎(学連)4198 ②中塩貴倫(広島)4145 ③杉山辰也(山口)4079 ④佐古浩一(岡山)4039 ⑤星川創(広島)4038 ⑥佐藤弘志(岡山)3938
《女子の部》
▽2人チーム戦(2X6G)
①山口A(川口・永井)2510 ②岡山E(鈴木・平田)2457 ③学連A(原田・石本)2414 ④広島C(北川・沖)2350 ⑤山口B(林・宮下)2337 ⑥岡山B(浅野・山口)2328
▽4人チーム戦(4X6G)
①岡山A(藤井・倉岡・浅野・山口)4767 ②山口A(川口・永井・林・宮下)4720 ③学連A(原田・石本・内藤・内藤)4685 ④岡山C(鈴木・平田・川上・藤本)4683 ⑤広島B(北川・沖・谷口・和田)4683 ⑥広島A(石橋・門田・望月・大下)4608
▽選手権者決定戦(18G)
①石本美来(学連)3916 ②永井香菜子(山口)3830 ③倉岡順子(岡山)3672 ④林静恵(山口)3662 ⑤大林令奈(岡山)3539 ⑥原田菜津美(学連)3533
第51回九州選手権大会 5月9日(土)10日(日)博多スターレーン(公競No.140・16)
《男子の部》
▽個人戦(6G)
①岸崎大知(福岡)800 ②高木遼介(福岡)796 ③金谷和美(福岡)786 ④前畑利樹(福岡)747 ⑤大城安史(沖縄)737 ⑥前田祐輔(大分)728
▽2人チーム戦(2X3G)
①福岡12(酒井・上田)1363 ②長崎C(原口・山本)1350 ③福岡1(村上・花岡)1346 ④長崎A(野口・菊川)1343 ⑤長崎B(下谷・鬼塚)1306
《女子の部》
▽個人戦(6G)
①松田未佑(福岡)2765 ②坂井百望(福岡)2686 ③小池沙紀(長崎)2646 ④下林千佳(熊本)2636 ⑤岡本美月(福岡)2608 ⑥小坂梨聖(福岡)2578

40 ⑥大分D(前田・工藤)1330
▽5人チーム戦(5X3G)
①熊本A(井手・谷・小原・中川・吉本)3475 ②福岡5(渡邊・藤田・長友・酒井・上田)3335 ③長崎A(山本・下谷・菊川・野口・鬼塚)3323 ④福岡3(升水・岸崎・中野・岸崎・大賀)3290 ⑤長崎1(吉田・三浦・本松・毛利・西納)3288 ⑥沖繩A(幸喜・知念・大城・浜比嘉・前田盛)3256
《女子の部》
▽オールエンス(12G)
①金谷和美(福岡)2830 ②菊川隆行(長崎)2786 ③前畑利樹(福岡)2785 ④渡邊翔(福岡)2766 ⑤北原泰輔(佐賀)2756 ⑥原口優馬(長崎)2746

知・野田・鈴木)5037
④学連B(志摩・中桐・宮崎・比嘉)5024 ⑤山口E(作間・後田・向本・宮野)5007 ⑥広島A(中塩・難波江・東山・大岡)5000
▽選手権者決定戦(18G)
①志摩竜太郎(学連)4198 ②中塩貴倫(広島)4145 ③杉山辰也(山口)4079 ④佐古浩一(岡山)4039 ⑤星川創(広島)4038 ⑥佐藤弘志(岡山)3938
《女子の部》
▽2人チーム戦(2X6G)
①山口A(川口・永井)2510 ②岡山E(鈴木・平田)2457 ③学連A(原田・石本)2414 ④広島C(北川・沖)2350 ⑤山口B(林・宮下)2337 ⑥岡山B(浅野・山口)2328
▽4人チーム戦(4X6G)
①岡山A(藤井・倉岡・浅野・山口)4767 ②山口A(川口・永井・林・宮下)4720 ③学連A(原田・石本・内藤・内藤)4685 ④岡山C(鈴木・平田・川上・藤本)4683 ⑤広島B(北川・沖・谷口・和田)4683 ⑥広島A(石橋・門田・望月・大下)4608
▽選手権者決定戦(18G)
①石本美来(学連)3916 ②永井香菜子(山口)3830 ③倉岡順子(岡山)3672 ④林静恵(山口)3662 ⑤大林令奈(岡山)3539 ⑥原田菜津美(学連)3533
第51回九州選手権大会 5月9日(土)10日(日)博多スターレーン(公競No.140・16)
《男子の部》
▽個人戦(6G)
①岸崎大知(福岡)800 ②高木遼介(福岡)796 ③金谷和美(福岡)786 ④前畑利樹(福岡)747 ⑤大城安史(沖縄)737 ⑥前田祐輔(大分)728
▽2人チーム戦(2X3G)
①福岡12(酒井・上田)1363 ②長崎C(原口・山本)1350 ③福岡1(村上・花岡)1346 ④長崎A(野口・菊川)1343 ⑤長崎B(下谷・鬼塚)1306
《女子の部》
▽個人戦(6G)
①松田未佑(福岡)2765 ②坂井百望(福岡)2686 ③小池沙紀(長崎)2646 ④下林千佳(熊本)2636 ⑤岡本美月(福岡)2608 ⑥小坂梨聖(福岡)2578

①松田未佑(福岡)2765 ②坂井百望(福岡)2686 ③小池沙紀(長崎)2646 ④下林千佳(熊本)2636 ⑤岡本美月(福岡)2608 ⑥小坂梨聖(福岡)2578

第48回全日本新人ボウリング選手権大会
東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ!」
主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 全国ボウリング公認競技場協議会
主管運営 東京都ボウリング連盟
会場 東大和グランドボウル
〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1330-19 BIGBOX東大和2F
TEL042-516-1556 FAX042-516-1557
http://www.grandbowl.jp/higashiyamato/
動画で分かるJBC
JBC公式動画チャンネル
YouTubeで https://www.youtube.com/user/JapanBowlingCongress
協会公式サイトで http://www.jbc-bowling.or.jp/info_dogach.html
JBC 公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp

TOP BOWLER

vol.99 勝ち負けよりも「ベスト」



アジアのユース世代は強豪揃い。その中での勝因は？「ミスをおそれずに試合を楽しんだ事だと思っています。これがうまくできたのも、ボウリング部の部員や仲間の応援や、正念場でのメンタルをリラックスさせてくれる声かけのおかげだったと思います。優勝が決まった瞬間は、アプローチ

上で我を忘れるくらいうれしかったです。」
 今年は大きな飛躍を遂げた年に。「NHK杯準優勝はほんとに奇跡だと自分で思っています。けれどあのテレビ中継という場を経験したことで、どんな試合のどんな場面でも、勝ち負けを考えるより、自分がその場でできる範囲のベストを尽くそうという考えで試合に挑むようになったのが要因かと思っています。」
 学連では運営面でもリードする存在です。「委員長としてはまだまだ至らない点ばかりですが、自分を成長させてくれた学連に恩返しすべく、今後の学連のために尽力し、試合を盛り上げて成功させていきたいと思っています。」

さとう・たかひろ 22歳 千葉商科大学4年 ジュニア時代は群馬県代表として国体等で活躍。山口国体(2011)では少年男子団体戦で2位に入る。大学生生活でも全日本新人選手権優勝(2013)、NHK杯準優勝(2015)と実績を重ね、8月のU22 Fukuoka Summer Cupでアジアの強豪を抑えて初代王者に。選手活動の傍ら、全日本学生連合の委員長としても奮闘中。

佐藤貴啓さん (学生連合)

《2020 東京オリンピック追加種目》

ボウリング落選

日本全国100万5000名もの方に署名でオリンピック種目化を応援していただき、年間1200万人もの方がプレーを楽しんでいるボウリングというスポーツの魅力に変わりはありません。これから若者男女が楽しめる一生

2020年東京オリンピックの追加種目選考結果が9月28日(月)に発表され、ボウリングは国際オリンピック委員会(IOC)に推薦される競技種目には選出されませんでした。

ボウリングは東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会による追加種目候補の選考において、最終候補8競技の一つに挙げられました。8月にはヒヤリング審査を受け、100万人超の署名を提出しました。若者ももちろん全世代に広く親しまれ、日本国民の気運向上やオリンピックムーブメントの拡大に貢献できる競技であることとを強くアピールしました。が、願いは届かず落選となりました。

世界ボウリング連盟 (World Bowling)

ケビン・ドーンバーガー会長のコメント

「当初の26競技の中から最終8競技の一つとして検討を続けていただいたことは大きなチャンスとなりました。ワールドボウリングにとって、このことは我々のオリンピック追求運動の大きな道しるべとして残るでしょう。我々はこのことが我々の明るい未来への礎を置くことになると信じます。今回の選考過程は我々の競技を強化しましたし、

我々は今回のキャンペーン活動を通じて計り知れない教訓を得たのです。今回は成功できなかったかも知れませんが、今後も我々の競技を世界中で開発し続けます。ボウリングワールドプランの一環として、今後もユースの参加、特に女子の参加を進めていくことなど、多くの施策を助長、推進してまいります。我々は今回の結果が我々の競技の世界的な認知を拡大させることになったと強く信じています。我々にはボウリングの明るい前途が開けています。」

「NO・BORDER・SPORT」であるボウリングを、より多くの方に伝えるよう努めてまいります。そして将来、オリンピック・パラリンピック種目採用の夢を実現させるため、今後も世界ボウリング連盟と協力してまいります。今回の2020追加種目選考における活動に際し、多大のご協力を賜りました各位に厚く御礼を申し上げます。

2015グローバル関東トーナメント

宮澤拓哉が大会2連覇

ボウラー4団体(JBC・NBF・JLBC・ABB)の関東地区の選手が一堂に会する競技会「2015グローバル関東トーナメント」が、9月13日(日)に東京・品川プリンスホテルボウリングセンター(公認No.13-41)で開催され、246名が出場しました。

競技は一般男子、一般女子、シルバード、シルバード女子の4部門で行われ、予選6ゲームの後、決勝はゼロスタートでの3ゲームを投球しました。一般男子では前年度優勝者として出場した全日本ナショナルチームメンバーの宮澤拓哉選手(群馬)が2連覇を達成。一般女子も全日本ユースナショナルチームメンバーの北村恵選手(東京)が制しました。

シルバード男子は吉永哲哉選手(東京)、シルバード女子は坂井悦子選手(NBF東京)がそれぞれ優勝を果たしました。



(左から) 連覇の宮澤選手と北村選手、吉永選手、坂井選手

和歌山国体 記者発表に 向谷美咲選手が登場

山岳、空手、パワートレーニングとともに紹介されたボウリングの向谷選手(右から2人目)



We are Team JAPAN ナショナルチーム通信

第70回国民体育大会(紀の国わかやま国体)の概要記者発表が9月16日(水)に東京・岸記念体育会館で開かれ、今大会の注目選手として全日本ナショナルチームの向谷美咲選手(千葉)が登場しました。(公財)日本体育協会・国民体育大会委員会の原博実委員長より大会の概要説明があり、続いて行われたトークショーでは、向谷選手が国体の個人戦3連覇中で、NHK杯でも2連覇の実績を持つことが紹介されました。数多くのボールを駆使して競技を行うため、重たいボールを運ぶのが大変という苦労話も披露されました。



信頼と実績。



純国産ドリルマシン
ABS Hydraulic Drilling Machine



油圧式



ストライクマスター
ファイアードアップ
ボウリングピンの
INNOVATION



BALL CLINIC
ボウリングボール研磨機

全国大会の成績を会場から直接配信!

JBC 携帯版 試合速報サイト



試合速報に大会スケジュール
会場案内など便利な情報が満載
携帯電話、スマートフォン、
パソコンからもアクセス可能です

↑バーコードでかんたんアクセス

アドレスは <http://www.jbc-bowling.or.jp/m/>

公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp



INFORMATION 大会・イベント情報